



在京和歌山県人会会報 第179号

編集兼 鈴木 正規  
発行 人

発行所 在京和歌山県人会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

電話 (03) 5212-9057(代表)直通

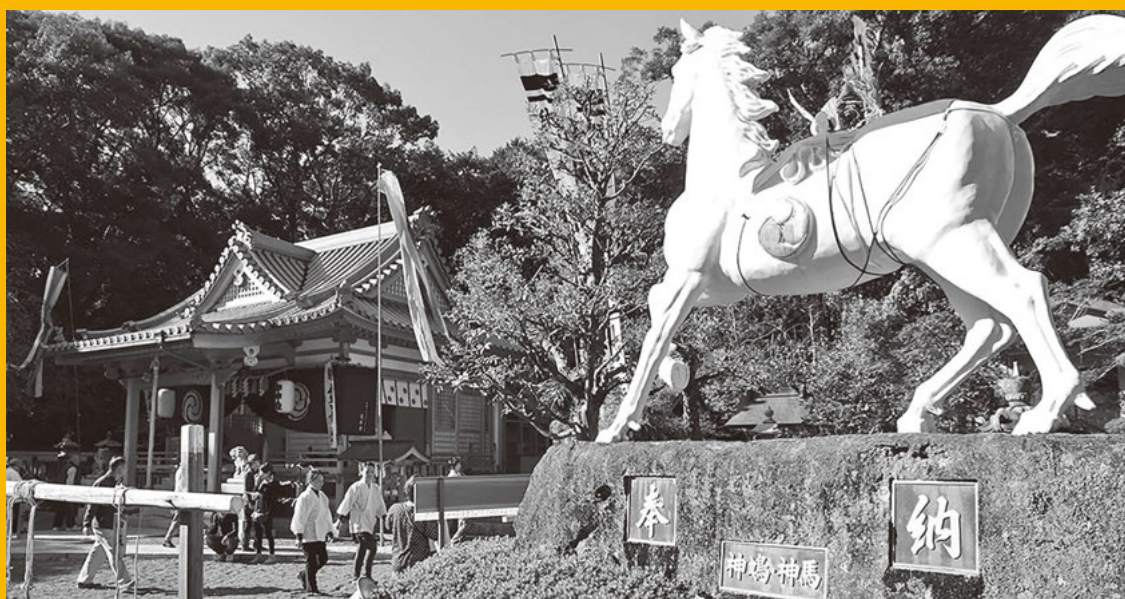
FAX (03) 5212-9059

振替 00190-9-30239

(題字は初代野村会長筆)

謹 賀 新 年

令和八年元旦



芳養八幡神社 流鏝馬 (田辺市中芳養)

写真提供：田辺観光協会

(目 次)

年頭のご挨拶.....	
本会会長・鈴木 正規…(1)	
新年の御挨拶.....	
和歌山県知事・宮 崎 泉…(2)	
新年の御挨拶.....	
和歌山県議会議長・岩 田 弘 彦 …(3)	

新春随想 .....	
仁坂 吉 伸…(4)	川 本 恭 治…(5)
林 幹 也…(6)	東 利 夫…(7)
郷土だより.....	(8)
大阪・関西万博での和歌山県の取組 .....	(10)
県人会ホームページ.....	(11)
同郷会・同窓会だより.....	(14)
令和7年度 在京和歌山県人会通常総会開催	(16)
在京和歌山県人会役員名簿.....	(19)
令和7年新入会員 ご紹介.....	(21)

三、  
ふ い と 和 黒 く  
る や こ 歌 か ろ  
さ 更 さ 山 ま  
と に え は の  
は の し の  
伸 明 あ ぶ 軌  
つ び 若 わ 日 す き 道  
ね よ さ を 呼 め ち  
に 栄 さ に ぶ め ち  
微 ほ か 乗 の ぐ と  
笑 ほ え り 国 ところ  
む よ て にく ろ

二、  
ふ い 汗 あ 和 野 の 南  
る や に 歌 か は 国  
さ 更 さ 明 あ 山 ま 稔  
と に け は り の  
は 息 い  
伸 の 火 ひ 幸 さ ち 吹  
つ び 花 な を 街 ま ぎ  
ね よ に 生 う は た  
に 栄 さ く む お か  
微 ほ か れ 国 くに  
笑 ほ え て なる  
む よ

一、  
ふ い 人 ひ と 和 陽 ひ  
る や の 歌 か に の  
さ 更 さ 和 山 ま 映 は  
と に と は ゆ の  
は と る と  
伸 の 文 ぶ 常 と こ  
つ び 化 か 春 の 緑 か  
ね よ を の どり  
に 栄 さ 添 そ くに 起  
微 ほ か え て 国 起 浜  
笑 ほ え よ えて 伏 木  
む よ 綿

## 和歌山県民歌

西川好次郎／作詞

山田 耕 祥／作曲

Andante maestoso



ほのぼ のとかおるはま ゆう ひには ゆるみどりのき  
ふくわかやまはとこはるのくにひとのわとぶんかをそ  
えて いやさらにのびよさか えよ ふるさとー  
は つ ねにほほ えむ 2.なんご 3.くろが

### 和歌山県民歌の誕生

戦後間もない昭和23年(1948年)、篤志家から「後世に残るものを何か考  
えてほしい」と和歌山フィルハーモニック・ソサイエティ委員長の竹中重  
雄氏が依頼を受けて、県民歌の作詞・作曲の一般公募を行い、同年8月に  
県民歌が誕生しました。作詞者は、小学校教諭の西川好次郎氏で、県内の市  
町歌や校歌を多く作られています。

作曲者は、「赤とんぼ」「この道」「か  
らたちの花」で有名な山田耕祥氏で  
す。作曲公募の中に優秀作品がな  
かったため、選者である氏自らが作  
曲を行いました。



QRコードから  
県民歌を聴いてみよう！

和歌山県提供

## 年頭のご挨拶

在京和歌山人会

会長 鈴木 正規



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご健勝で良き新年を迎えられたことを  
お喜び申し上げます。

昨年は、4月に岸本前県知事が急逝され、その後、宮崎 泉新知事が  
選出されるなど、県政には激動が走りました。他方、大阪万博が約半年  
の間、開催され、前回の愛知万博を上回る来場者を記録するなど関西全  
体が大いに盛り上がりました。和歌山県についても関西パビリオンの和  
歌山ゾーンに多くの方が訪れられ、「和歌山百景一霊性の大地」と銘打った展示を通じ、国内外の  
多くの方に和歌山県の上質の歴史文化と精神性を知っていただくことができたのではないかとと思  
います。

少子高齢化や人口減少など和歌山県を取りまく環境には様々な課題がありますが、串本町での民  
間ロケットの打ち上げなど、宇宙開発を通じた新たな発展の萌芽も見えてきています。

和歌山人会も会員増強を目指した取り組みが2年目を迎えました。個人、法人の会員の増加も進  
んでおり、今後、活動の充実を図るとともに和歌山県の発展や会員のお役に立てるよう努力を続け  
たいと思います。

県人会と別組織ですが、和歌山県学生寮を運営している和歌山県奨学会のことを昨年、触れまし  
た。老朽化が進み、その地での建て替えは建築基準法や資金面などで難しいことから、現在の場所  
での寮事業の提供は2027年3月をもって終了せざるを得なくなり、土地建物は処分し、他の方策を  
模索することになりました。その際、昨年の和歌山人会でのつながりなどが土地の売却などに大  
いに力になってくれました。

今後とも県人会での出会いやつながりが同郷の  
方々との懇親などを通じ人生を豊かにしてくれる  
とともに、いろいろな面で実りあるものになるよう  
努めてまいりたいと思います。

最後になりますが、皆様の今年一年のご多幸を心  
よりお祈り申し上げます。



## 新年の御挨拶

和歌山県知事

宮崎 泉



謹んで在京和歌山県人会員の皆様に新春のお慶びを申し上げます。

昨年6月に知事に就任して半年余りが経過しました。この間、県内の企業や農林水産業などの現場に足を運ぶとともに、タウンミーティングを開催するなど、県民や地域の皆様のお声にしっかりと耳を傾けることを第一に県政を進めてまいりました。今後もこの姿勢を貫きながら、本県が抱える多くの課題に真正面から向き合い、その解決に向けて様々な施策に果敢に挑戦してまいります。

さて、昨年を振り返りますと、10月をもって大盛況のうちに閉幕した大阪・関西万博の関西パビリオン和歌山ゾーンでは、目標とした30万人を超える約47万人の皆様に御来場いただきました。「県民総参加」の想いのもと、市町村、企業、地域団体など多様な主体と連携し、本県の魅力を余すことなく国内外に発信できたものと感じております。

また、8月には「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」が世界農業遺産に認定されました。認定から10年を迎えた「みなべ・田辺の梅システム」とあわせて、本県を代表する農産物である「みかん」と「うめ」の栽培技術や歴史・文化が世界に認められたことは大変うれしい出来事でした。今後も産地と一体となってブランド力の向上と関係人口の増加につなげてまいります。

そして、令和8年度からは新しい総合計画のもとで県政を進めていくこととなります。総合計画で展望する2040年に向かっては、人口減少という大きなトレンドが避けられない中で、「人口減少や気候変動に適応した、持続可能で心豊かな和歌山」、「個人が尊重され、あらゆる分野で個性輝く和歌山」の2つを本計画がめざす将来像としました。これらを実現するため、強い熱意と覚悟を持って取り組んでまいりますので、会員の皆様におかれましては、ふるさと和歌山の発展のため、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が会員の皆様にとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。





## 新年の御挨拶

和歌山県議会議長

岩田 弘彦



あけましておめでとうございます。

在京和歌山人会の皆さまには、健やかに令和8年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」が開催され、2,900万人を超える国内外からの来場者で大変な賑わいとなりました。万博開催効果もあり県内主要観光地においてもインバウンドをはじめとする観光需要の高まりがありました。今後、万博でのさまざまな経験や知見が波及し、県内外の活性化につながることを期待いたします。

和歌山県では次世代を担う若者にとって住みやすく魅力ある地域とするため、若者が活躍できる場を増やすことが重要となります。子育て世代の県内での定住や、都市と地域をつなぐ関係人口の拡大・深化を図る多様な地域づくりも大切です。先端技術やAI等の導入により既存産業を進化させながら守り育てるとともに、さらに企業誘致を促進し新たな産業を創出していきたいと考えています。

また、災害に備え県民の生命と財産を守ることも重要です。南海トラフ地震に備え「半島防災」という視点から県土の強靱化を進め、防災・減災のためのインフラ整備に取り組みます。

今年は、県が策定した「新総合計画」の初年度となります。ふるさと和歌山が一層躍動でき、県民の皆さまがいきいきと活躍できるよう精一杯尽力してまいります。

結びに、在京和歌山人会のますますの御発展と、新しい年が県人会の皆さまにとって良い年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭に当たっての御挨拶といたします。





新(春)随(想)

## 在京和歌山県人会に入会をお認めいただき ありがとうございました。

仁 坂 吉 伸  
(和歌山市出身)  
(昭和25年生)

この度は在京和歌山県人会に入会をお認めいただきありがとうございました。私は、2022年12月まで和歌山県知事を拝命していましたが、その前は直前の数か月の日本貿易会勤務を除くとずっと役人でした。1974年に当時の通商産業省に入省して以来、通産省、科学技術庁、国土庁、経済企画庁、最後は外務省に出向して駐ブルネイ大使と、ずっと国の役人でした。大学に入るまではずっと和歌山市で、今考えると、今よりも相対的に力のあった和歌山で、結構楽しい子供時代を送れたなあとと思います。職に就いてからは、どうも私の性格でしょうか、仕事の対象は日本の国益ですから、その目標に全力投球で、和歌山のために特に尽くしたという思いはありません。ただただ、「ふるさととは遠きにありて思ふもの」でありました。

もちろん、国の仕事をしていても、(他の人にとっては民間の仕事をしていても)、その中で多くの経験を積み、知見も身に付けていますから、もしあの時代に和歌山県から、なにがしかの意見や協力を求められていたら、出来ることは何でもしていたと思います。しかし、そういう話はただ一回を除いてありませんでした。その一回も、当時の和歌山県の方が、当時の知事の肝いりプロジェクトなのですってご紹介下さったある事例を、論理的には必ず失敗するでしょうとケチをつけてしまったので、それ以後二度とお声をかけてはくれませんでした。かくて、知事になるまでの私は、少なくとも直接は和歌山県のために尽くした記憶はありません。文字通り、故郷は遠くにありて思うだけでありました。

知事に就任した私が、和歌山県出身で各方面で活躍をしている人や内外の県人会を大事にし、ご意見を賜り、自ら各地の県人会に出席して皆さんと親交を深め、ご経験やご意見をお聞きしようとしたのは、遠くにありて故郷を思う者の思いを分かっているからであります。遠くにあるからこそ分かることもあります。県勢浮揚の秘訣がお聞きできることもきっとあると思いました。また、そこでお知り合いになった和歌山県出身者の方々に、和歌山県発展のご協力を本当に沢山いただくことが出来ました。心から感謝しています。和歌山に残ったすべての県民を代表してお礼を申し上げます。

和歌山県知事として16年間死に物狂いで働いてまいりました。和歌山県は、皆さんのご協力のおかげで随分といい流れもできてまいりましたが、まだまだなかなかうまく行かないなと思うところもあります。県民の皆さんや和歌山県出身の皆様には申し訳ないことであると思います。後は、立派な後進が引き継いでくれるであろうと思って、引退をさせていただきました。その後は、和歌山研究会という団体を立ち上げて、16年間も生まれ故郷の知事をさせて下さった和歌山県の方々に恩返しと思って、知的貢献を目的とした勉強会を開催したり、研究会のHPでその時々の方局に関するメッセージを発信したりしている一方、長年苦勞をかけっぱなしであった病妻の世話を東京の自宅ですしています。最近では家内のことが心配なので、東京にいたことが圧倒的に多くなってしまいました。ただ、短時間であれば家を空けることもできますから、どうぞ何かお役に立つことがあればお使いください。喜んでやらさせていただきます。

そして、念願がかなって、県人会という、故郷を遠くにありて思っていられっしやる方々の会のお仲間入りができて本当に感謝しております。在京和歌山県人会に入会をお認めいただき誠にありがとうございました。



新(春)随(想)

## 信金マンの志

川 本 恭 治

(和歌山市出身・城南信用金庫)  
(昭和37年生)

私が和歌山市で生まれて今年で64年、大学を卒業して信用金庫業界にお世話になるようになって41年となります。

信用金庫業界では、今日も全国約10万人の信金マンが、地域の皆さんのお役に立とうと奮闘しています。

そんな信金マンの想いを詩にしてみました。

## ～信金マンの志～

私たち信金マンは、雨の日も風の日も自転車やバイクに乗ってお客様のお宅にお伺いします。

地味で野暮ったく見えるかもしれません。

しかし、雨でずぶ濡れになっても、“熱い心”を持っています。

汗が止まらなくても、困っている人を何とか助けようという“情熱”を持っています。

それが我々信金の“使命”であり、本当のやりがいと喜びがあることを知っています。

我々は、地道で着実な生き方に、信金としての“誇り”を持っています。

お客様の“心”に永遠に残る仕事出来ることに“誇り”を持っています。

我々には、世界に誇れる大切な“企業理念”があります。

公的な使命を持つ、社会貢献企業である自負を持っています。

覚えています！あなたを信頼して良かったと言われたことを。

忘れません！お客様の成長の力になれたことを。

人知れず涙を流した苦い経験を乗り越えて今があります。

日々の仕事は、地道で決して華やかでないかもしれません。

でも、分かっています！我々がやらなければ、誰も日本を明るく元気にできないことを。

知っています！我々が日本中から期待されていることを。

誰も困難から目を逸らしません。その先にお客様の幸せが待っているから。

こんな気持ちで、日本中の信金マンは日々頑張っています。

もしもお困りのことがあれば、お近くの信用金庫にお寄り下さい。

きっとお役にたつはずです。





新(春)随(想)

## 和歌山県警察との交流の思い出

林 幹 也

(和歌山市出身)

(昭和28年生)

毎年各県持ち回りで全国警察音楽隊演奏会が開催されるのですが、平成7年9月に千葉県で開催された第40回の演奏会で、和歌山県警音楽隊のお世話を任されました。千葉県警で和歌山県出身は私一人だったからだと思います。裏方としての参加だったので、演奏自体は聴けなかったのですが、出身県の代表と接することができて感慨深いものがありました。和歌山県警のホームページには演奏会の写真が載っています。

面白かったのは、迷彩服を着てモデルガンを身につけた男の人が、カラーガード隊の女性に声をかけて写真を撮っていたことです。聞くところでは、全国警察音楽隊演奏会には必ず現れて撮影しているそうで、格好は軍事オタクで、一種の警察音楽隊マニアだと思いました。

警察音楽隊は、都道府県によって構成員が違います。以前中学の同窓会で会った女性の息さんが警視庁音楽隊に入る予定だと聞きました。警視庁ではまず警察官採用試験を受けて警察官として訓練と交番での実務を終えてから音楽隊に入れるということでした。

千葉県では、今は音楽を専攻した人が、警察官ではない専門職として採用された方が多いと思います。公務員として安定した身分で音楽に専念できるのはなかなか良いですね。私がアテンドした和歌山県警の音楽隊の方は、警察官だったが、身分転用して一般職員（行政職員）になったと聞きました。







## 新(春)随(想)

1952年（昭和27年）2月11日（平日）、私は県知事（小野真次氏）の指示で霞ヶ関中央官庁研修生（1年）として着任、同時に県事務所配属となった。

この時、連合国軍最高司令官の命令により、「民主主義に反する」との理由で同日の祝日は廃止されていた。

東 利 夫  
(海南市出身)  
(昭和5年7月生)

私は1930年に現在の海南市日方で生まれた。女子師範附属日方小学校を経て、明治45年生まれの母の「県立中学校を受験せよ」との意向で県立中学に入学した。中学校長の佐藤要三先生は、「東京大学へ進学しなさい」と勧めてくれた。しかし、徳川時代に紀州公許認の「庄屋」を経営し、裕福だった母の実家が昭和初期に没落したため、進学は断念し、試験で県庁に入庁した。「187人合格中トップ入庁」だったので、間もなく東京勤務を命ぜられた。

東京では、多様な仕事に従事するのと並行して神田駿河台の某大学法学部へ進学し卒業した。法学以外に独仏の語学が好きで、音楽（ベートーヴェンなど）のほか、国際問題にも強い興味を持ち、仕事にも活用したものである。

戦後は民主主義、自由主義について学び、私は「メディア」で多様な国際法に興味を持つようになった。

私は、現在の日本が、経済力の一層の伸展とともに、①「G7」の仲間、②EUやAPECとの連携などを大切に、世界一の民主国家「英国」を念頭に、国連の「大戦後の国境線の変更なし」の約束により世界平和に貢献することを願っている。

現代と未来は科学による時代。神話は神話である。

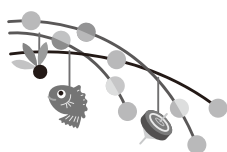
私は今95歳。少し腰痛ですが元気です。

来年もまたお会いできることを祈っております。

私達きょうだいの父母は、大戦終結の労苦に若く病逝、田舎の墓地に永眠している。

皆様のご健勝をお祈りします。





## 郷土だより

### 岸本周平前知事が逝去

岸本周平前和歌山県知事が、令和7年4月15日に急逝されました。令和4年12月の就任以来、「和歌山が最高!だと子どもたちが思う未来を!」をスローガンに、県内小中学校の給食の無償化や子供食堂の設置拡大に取り組むとともに、県内各地でタウンミーティングを開催するなど、精力的に県政を推進していた最中での突然の訃報は、県内外に大きな衝撃と悲しみを与えました。

6月7日に举行された県民葬には、県民の皆さんをはじめ、岸本前知事が生前交流のあった方々約2,500人が参列しました。会場には笑顔の岸本前知事の遺影が飾られ、参列者が黙祷を捧げた後、葬儀委員長である宮崎知事が弔辞を述べました。宮崎知事は、常にトライ&エラーの精神で本県のような課題解決に立ち向かい、「県民の笑顔」を追い求めた2年4ヶ月の岸本県政を振り返りながら、「岸本さんが和歌山の将来を思い描いて蒔かれた種を大切に育て、立派な実をみのらせること



弔辞を述べる宮崎知事

が、これからを生きる私たち県民の役目」であると決意を語りました。

### 宮崎泉新知事が就任

岸本前知事の急逝を受け、令和7年6月1日に投開票が行われた和歌山県知事選挙では、新人で無所属の前副知事、宮崎泉氏（66）が初当選を果たしました。投票率は39.86%で前回と同じとなりました。宮崎氏は250,454票を獲得し、共産党公認で党県委員会副委員長の松坂美知子氏（68）を大差で破りました。宮崎氏は「選挙期間中は、岸本前知事が吹き込んだ息吹をしっかりと受け継ぎ、大きな花を咲かせるべく、取り組んでまいりたいと訴えてきました。私は、こどもたちがいつもニコニコして、笑顔で暮らせる“こどもまんなか”の和歌山、そして、一人ひとりの個性が輝き、誰もが活躍できる和歌山を実現したいと、その思いを胸に、声を届けてきました。県民一人ひとりに寄り添った県政を、皆さまと共にめざしていきたいと考えています。未来へ“笑顔をつなぐ”ための施策にしっかりと取り組み、安心して暮らし続けられる「笑顔あふれる和歌山」を築いていきたいと思います。」と決意を述べています。

#### 【宮崎泉氏略歴】

桐蔭高校、大阪大学人間科学部卒業後、和歌山県庁に入庁。企業振興課長、人事課長、知事室長を経て、令和元年から7年3月まで教育長を務めたのち令和7年4月に副知事に就任。

**県議会議長に岩田弘彦議員が就任**

和歌山県議会は昨年6月11日の定例会で岩田弘彦議員（橋本市選挙区、4期目、自民党）を第95代議長に、秋月史成議員（西牟婁郡選挙区、3期目、自民党）を第101代副議長に選任。岩田議長は、「二元代表制のもと県民の皆様から直接選ばれた知事と議員が日頃から車の両輪のように意思疎通を図りながら円滑に、また活発な議論を通じ切磋琢磨することが、県民の皆様の幸せや本県の発展に繋がるものと確信しております。より良い和歌山県のために全力で取り組みます。」と抱負を語っています。

**新たな和歌山県総合計画が策定**

和歌山県を取り巻く環境は、人口減少・超少子高齢化が加速していく一方、デジタル技術の進展に加え、脱炭素・循環型社会への構造転換が求められるなど、大きく変化し、そうした動きは今後より一層拡大していくことが見込まれます。

こうした課題や社会情勢の変化に対応し、県民の皆様が将来に向かって安心して希望をもって暮らしていけるよう、この度、和歌山県政の新たな指針となる総合計画が令和7年12月議会において可決されました。

計画では、2040年を展望し、めざす将来像として「人口減少や気候変動に適応した持続可能で心豊かな和歌山」と「個人が尊重され、あらゆる分野で個性輝く和歌山」を掲げています。

その実現のため、①海外の活力を取り込む、②人への投資を強化する、③産業の創造力と生産性を高める、④つながりを拡げて、暮らしを守る、⑤誰にも居場所がある社会をつくる、⑥安全な社会基盤を築き、さまざまな脅威から命を守る、を政策の柱として県政を推進していくこととしています。

**「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」が世界農業遺産に認定**

有田・下津地域では、400年以上前から農家の手により壮大な石積み階段園を築き上げ、自然条件を巧みに生かして多様な品種系統を導入してきました。また、貯蔵技術も駆使することで、年内の有田みかん、年明けの下津蔵出しみかんといった長期リレー出荷を実現してきました。

このように、地域で受け継がれてきた伝統的な農林水産業と、それと一緒に育まれた文化やランドスケープ等が国際連合食糧農業機関（FAO）において評価され、令和7年8月26日に世界農業遺産として認定されました。県内では、「みなべ・田辺の梅システム」に次ぐ2番目の認定となります。

**国道42号冷水拡幅及び有田海南道路（海南市下津町小南～海南市冷水）が開通**

国道42号有田海南道路のうち、海南市下津町小南から同市冷水に至る延長2.9km（2車線）と、冷水拡幅のうち、残る延長0.4km（4車線）が令和7年6月7日に開通しました。

これにより、通勤時間帯に発生している渋滞の緩和や交通事故の減少といった、当地域の交通課題の解決や、有田市から海南市及び和歌山市への救急搬送に要する時間の短縮による救命率の向上などが期待されます。また、令和5年9月のオープン後、県外から多数の観光客が訪れている道の駅「海南サクアス」の一層の集客に寄与するものと見込まれます。

## 大阪・関西万博での和歌山県の取組

### 和歌山県知事室万博推進課

4月13日に開幕した2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が10月13日に閉幕しました。多数の県民の皆様が万博会場を訪れ、未来社会を体験されました。また、和歌山県主催の催事などにも多くの県民の皆様に出展、出演いただき、岸本前知事が掲げられた「県民総参加」の想いのもと大盛況に終了したところです。

今回の万博における本県の取組としては、関西広域連合構成府県を中心に9府県が合同で関西パビリオンを出展し、本県もその中に和歌山ゾーンを常設で開設し、和歌山が誇る多様な魅力を国内外に発信しました。

和歌山ゾーン内では、「トーテム」と呼ばれる高さ4mの映像タワーは紀州塗の技術を活用し、また、高野口パイル製ソファ、紀州材により制作したカウンターやチェアなど県産品をふんだんに取り入れた展示を行いました。

加えて、連日、和歌山ゾーンの中央において、約50もの団体や個人の皆様に出演・出展いただき、地域の誇りを大いに表現する場となりました。目標とした30万人を超える47万人の皆さんにご来場いただき、和歌山が誇る世界遺産をはじめ豊富な観光資源や県内の地場産業、伝統文化などの魅力を国内外に発信できたものと考えております。

また、EXPOメッセにおいて4月30日～5月3日にかけて県内の地場産業をPRするイベント和歌山WEEKの開催や、関西パビリオン多目的エリアでは、振興局エリアごとに多彩で魅力ある地域発

信イベントを5月6日～18日、9月10日～15日に開催し、多くの来場者で賑わうこととなりました。

さらに10月3日には、和歌山DAYを開催し、昼の部では和歌山の古来から伝わる伝統文化をステージパフォーマンス等により発信し、また、夜の部では、和歌山県出身のアーティストであるHYDE氏によるスペシャルライブを開催し、万博会場を興奮の渦に巻き込みました。昼の部と夜の部を合わせ、約18,000人の方に和歌山の魅力を存分に発信するものとなりました。

また、県内の子ども達が万博に参加し、先端技術や多様な文化に触れる機会を設けるため、教育旅行への支援を行い、約4万人の子ども達が将来に向け未来社会を体験することができました。

万博を契機に国際交流も生まれました。梅酒やみかんなどを使用したスイーツの販売といった交流や、海外パビリオンスタッフが県内の地域を訪問し、地域の魅力を体験するツアーを実施するなど、万博ならではの国際交流を図ることができました。

これらの取組を通じて、市町村や企業、地域団体など多様な主体と連携し、本県の魅力を余すところなく国内外に発信できたものと手応えを感じております。

万博を通じて得た繋がりや経験は本県の発展に向けた大きな財産であり、今後も万博での繋がりを更に発展させ、持続可能で魅力ある和歌山県をつくってまいります。



関西パビリオン和歌山ゾーン閉幕日の様子



和歌山DAY（昼の部）フィナーレ



## 県人会ホームページ「お知らせ」欄への投稿を募集しています

県人会ホームページには和歌山県の最新の情報や会員の皆さんの個人やグループでの活動などを掲載しています。「お知らせ」欄への投稿をホームページ上で募集しておりますので、皆さまのご応募をお待ちしております。

URL : <https://zaikyowakayama.net>



## 新規会員を募集しています

在京和歌山県人会では、新規会員の募集を行っております。  
会員の皆さまから是非とも、お知り合いの方々に入会のお声がけをいただきますようお願いいたします。

### 会費詳細

- 普通会員 年額 5,000円
- 学生会員 無料（大学在学中の方または22歳以下の方）
- 法人等会員 年額 30,000円

法人等会員様につきましては、次の特典があります。

- ①ホームページ（トップページ）へのバナー広告の掲載  
及び法人等会員のページへのお知らせ（年間3回まで。  
ただし、著しく営利にわたらないもの及び公序良俗に  
反しないものに限る）の掲載

- ②会報誌への広告掲載

※すべての会員様に総会等への参加案内、会報誌送付などの  
特典があります。

新規入会された  
普通会員の方の会費に  
つきましては、

### 初年度は無料

（令和9年3月31日までに  
入会された方）  
とさせていただきます。  
おります。

## 年会費納入はクレジットカード払いもご利用ください

年会費納入はクレジットカードでもお支払いいただけます。  
ご希望の方は、ホームページのお問い合わせフォームからお願いします。



# わかやまFUNBASE

## 地域と出会い、人とつながる



和歌山県関係人口創出プラットフォーム

わかやまFUNBASE



# まちづくり

# 体験・交流

# 子育て・教育

# 文化・芸術・スポーツ

### ≡ わかやまFUNBASEについて



わかやま  
FUNBASE

和歌山には「地域を元気にしたい!」という熱い思いを持ち、活動している魅力的な方がたくさんいます。  
「わかやま FUNBASE」はそんな地域の人たちと出会える場です。  
プロジェクトに参加するほどランクが上がり、つながる楽しさもどんどん広がります。どう関わるかは、あなた次第。  
さまざまなプロジェクトに参加して、  
あなたらしい地域との関わり方を見つけてみませんか?

WEB サイト



# COMING SOON! (1月中旬) オープン)

## ≡ わかやまFUNBASEの仕組み



### 地域と関わりたいあなたへ

#### • わかやま FUNBASE でできること

- 地域のキーパーソンや団体と出会う
- 興味があるプロジェクトに参加できる
- マイページで参加履歴やお気に入り一覧が確認できる
- 気になるプロジェクトの最新情報が届く

#### • プロジェクト参加の流れ

- 会員登録を行う
- 気になるプロジェクトを探す
- 申込フォームに入力
- その後は主催者とやり取り
- 参加後レビューを投稿(任意)

### レビューを投稿するとランクアップ!

特定の条件を満たすことでランクアップし、FUN バッジを獲得できます!



#### ランクアップ条件

##### サポーターのランク

- ゴールド** レビュー投稿数4回以上
- シルバー** レビュー投稿数3回
- ブロンズ** レビュー投稿数2回

※対象期間は過去1年間

##### 地域の人・団体(地域団体等)のランク

- ゴールド** 受入累計100人以上 or レポート投稿36回以上
- シルバー** 受入累計50人以上 or レポート投稿24回以上
- ブロンズ** 受入累計20人以上 or レポート投稿12回以上

※対象期間は過去1年間。プロジェクト関連レポートのみカウント

#### INFORMATION

わかやま FUNBASE 運営事務局 [(株)仕事旅行社]  
info@wakayamafunbase.com

和歌山県地域振興課

☎ 073-441-2930 📍 〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1-1



## 同郷会・同窓会だより

### 第100回「東京和工会」記念 総会・懇親会 開催

日時：令和7年11月23日（祝日）14時～18時

場所：プラザ・アペア（蒲田）

「東京和工会」記念 総会・懇親会は、今年は遠方よりの参加者など80名強で開催されました。

年次総会に続き来賓挨拶の後、懇親会では、和歌山県庁岡澤利彦様より白浜空港の話、母校卒業生の演歌歌手によるアトラクション等で楽しみ、皆で懐かしい校歌合唱、次年度11月23日の第101回総会での再会を楽しみに閉会しました。



HPは URL <https://tokyowakokai.jimdofree.com/>

### 令和8年 紀友会報告

故 岸本周平氏を偲んで

『紀友会』は2004年財務省を退官したばかりの岸本氏を含む和歌山出身者9名が和歌山を盛り上げようと結成した非営利の交流会です。最後にお会いしたのは2024年の紀友会例会でしたが「私もファウンダー（創設者）の一人ですから協力するよ」といたずらっ子のような笑顔で話されたのが昨日のようです。初めに人ありきで「和歌山の若者には希望を！」と常に『人間ファースト』の優しくも熱い想いをお持ちでした。

私も会員の皆さまと共にファウンダー達の想いに恥じぬよう活動を進化させたいと思っています。

今年は和歌山支部からも活動しようと考えています。引き続き応援の程宜しくお願いします。

会長 山本充彦



令和6年紀友会例会にて

### 令和7年度「和歌山大学同窓会 東京・関東交流会」開催

日時：令和7年9月27日（土）10:30～14:30

場所：損保会館 大会議室

令和7年度は、教育学部創立150周年、システム工学部創立30周年という記念すべき年を迎えるにあたり、全学部卒業生を対象とした「和歌山大学同窓会 東京・関東交流会」として昨年9月27日（土）、損保会館 大会議室にて出席者65名で開催した。

「南紀白浜空港を核とした持続可能な観光振興と和歌山大学の役割～パンダがいなくても大丈夫！？～」と題したパネルディスカッションをパネリストに岡澤利彦 和歌山県庁、大学より足立基浩 副学長、木村ともえ 准教授、前田知寛 観光学部3年生、モデレーター萩さおり 和歌山県庁で行い、懇親会でも盛り上がりました。





## 令和7年度「東京橋本会」総会・親睦会開催

日時：令和7年10月18日（土）11：00～14：00

場所：東京グリーンパレス（東京都千代田区二番町2番地）

今年も「東京橋本会」の総会・親睦会が開催されました。

今年度の総会では令和6年度事業報告・決算報告や令和7年度事業計画・予算の決定等を行いました。また、今回の

親睦会では、参加者全員に豪華景品が当たる抽選会や「橋本市の昔と今」と題したスライドショーを上映するなど盛大に開催いたしました。



## 令和7年度 第21回「南紀田辺会」開催

日時：令和7年10月18日（土）12:00～16:30

場所：ホテルポール麹町「エメラルド・マール」

首都圏在住で紀南地方の高校卒業生らでつくる「南紀田辺会」

（会長：大門一成）は、田辺等からの出席者を含め74名が集い、旧交を温めた。総会では事業計画と予算案等の説明と、南紀田

辺会の「ロゴマーク」のお披露目が行われた。総会後、田辺市

出身の小山直樹さん、白浜町出身の熊野幸代さんによる講演が行われ、懇親会は竹内征司さん（田高9回生）によるご発声で乾杯。地域と世代間を超えた交流を楽しみ、最後まで話が弾む時間となった。次回は令和8年10月17日（土）に開催予定。



南紀田辺会のホームページが完成しました

<https://nanki-tanabe.studio.site/>

（副会長 中平次郎）

## 令和7年度（第28回） 向陽高校・東京地区同窓会を開催

日時：令和7年6月1日（日）12：00～15：00

場所：MARUNOUCHI BASE（大手町）

向陽高校・東京地区同窓会（岡田真幸会長）は6月1日（日）に開催され、約50名の同窓生が出席して旧交を温めました。今回は参加者をシャッフルしてグループにわかれ、向陽高校や和歌山にちなんだクイズに答える「チーム対抗クイズ大会」を企画。世代を超えて和気あいあいと盛り上がる姿に同窓会ならではの一体感が感じられました。SNS等で告知したこともあり、若い仲間の参加も増え、世代を超えたとても有意義なイベントとなりました。



## 第12回「日高高校関東同窓会」総会・懇親会開催

日時：令和7年10月5日（日）12:30～15:00

場所：ホテル東京ガーデンパレス（文京区湯島）

今年の日高高校関東同窓会には、昭和26年卒から平成27年卒までの関東在住卒業生72名が出席、世代を超えて旧交を温めました。更に同窓会本部より2名、日高高校関西同窓会より1名の来賓をお招きし、総勢75名で開催されました。

今年は総会後、懇親会が始まる前に、関東在住の日高高校合唱部

OB OG 22名による迫力ある合唱の演奏が披露されました。更に懇親会の終盤には、出席した卒業生全員による校歌斉唱で盛り上がり、来年の再会を誓い合い閉会しました。



## 令和7年度 在京和歌山県人会通常総会開催

日時 令和7年11月8日（土）12：00～14：30  
場所 ホテルルポール麴町「ロイヤル・クリスタルの間」

令和7年度在京和歌山県人会総会・交流会は、令和7年11月8日（土）ルポール麴町で開催されました。

昭和34年に、会員相互の親睦を図り、併せて郷土の発展に寄与することを目的に設立されて以来、昨年で67周年を迎えることができました。今後とも本会が益々発展し会員相互と郷土の発展にお役に立てるよう頑張ってまいります。



（鈴木正規会長挨拶）

### 1. 総会

久保剛彦理事の司会で開始。まず鈴木正規会長から「今年は岸本前知事のご逝去という県政の大きな動きがあった一方で、大阪・関西万博では国内外に本県の魅力を力強く発信することができ、明るい話題もあった年。人口減少が加速するなど、本県を取り巻く環境は厳しさを増しているが、県人会としてもこの難局に何らかの形で支援していきたいと考えている。」と挨拶。

宮崎泉和歌山県知事の代理として出席いただいた北廣理人知事室長からご挨拶をいただく。その後、出席いただいた有田市長玉木久登様、古座川町長大屋一成様をご紹介します。

また、出席が叶わなかった国会議員先生方の秘書さん、市町長代理の方々をご紹介します。引き続き議事に入る。配付資料（総会プログラム内）に沿って鈴木議長のもと審議に入る。

議案第1号「令和6年度事業報告並びに歳入歳出決算」を提出。これに関連して事務局より「令和7年4月17日に、和歌山県東京事務所において、3名の監事により歳入歳出諸帳簿等を監査いただいた結果、いずれも適正であることをお認めいただいた」と監査報告。異議なく可決。



（北廣理人知事室長挨拶）

議案第2号「令和7年度事業計画（案）並びに歳入歳出予算（案）」に移る。異議なく可決。

第3号議案「役員の改選について（案）」に移る。異議なく満場の拍手で承認された。

この後、事務局より新規会員勧誘へのご協力をお願いし、総会の議事は滞りなく終了した。

### （濱口副会長への花束贈呈）

16年間という長きにわたり副会長をお務めいただいた濱口道雄副会長へ感謝を込めて花束贈呈。「副会長職からは退任するが、引き続き会員として残るので、別の形で貢献を続ける所存。」との挨拶をいただく。





(濱口道雄副会長への花束贈呈)

**(新任役員の紹介)**

総会で新たに選任された坂口三代治新常任理事、正林和子新常任理事、角田典彦新常任理事、久保剛彦新常任理事、高木哲也新常任理事、川本恭治新理事、林克昌新理事、山本哲司新理事及び宮本準司新監事をご紹介します。

**2. 交流会**

引き続き久保剛彦理事の司会で交流会開始。開会に当たり徳川宜子名誉会長が、テレビ番組「偉人・敗北からの教訓」において徳川吉宗の特集が放送されるエピソードを交えて挨拶。



(徳川宜子名誉会長挨拶)

**(ふるさと紹介)**

続いて、ご出席いただいた市町長からふるさとを紹介するコーナー。まずは玉木久登有田市長が有田市をPR。



(有田市PR 玉木久登市長)

続いて大屋一成古座川町長が古座川町をPR。



(古座川町PR 大屋一成町長)

**(新会員の紹介、乾杯)**

続いて新規会員のみなさまをご紹介します。代表して仁坂吉伸顧問より「和歌山県民への恩返しのため、『和歌山研究会』を立ち上げ、知的貢献を目的に活動中。現在、病妻の介護の関係で東京にすることが多いが、何か和歌山のお役に立てることがあれば、お気軽にお声いただきたい。県人会への入会承認に感謝いたします。」との挨拶の後、杉若吉彦常任理事の乾杯の音頭で交流会が始まる。



(仁坂吉伸顧問挨拶)



(乾杯・杉若吉彦常任理事)

**(古都清乃さんスペシャルライブ)**

しばし歓談ののち、皆さんお待ちかねの古都清乃さんによるスペシャルライブが始まる。古都さんのヒット曲の数々を楽しみながら、最後は「和歌山ブルース」を会場全員で大合唱。



(スペシャルライブ・古都清乃さん)

## (PRタイム)

春風亭橋蔵さんから落語会のPR。



(春風亭橋蔵さん)

東京学生寮からは神谷勝寮長と学生の皆さんが学生寮のPR。



(学生寮PR 神谷勝寮長と学生の皆さん)

和歌山県からは税務課 西浦班長、大亦さんからふるさと納税のPRがあった。

## (福引き抽選会)

各所よりいただいた寄贈品の抽選会に移る。県内市町村や関係企業の皆さまからたくさんの品を頂き、**正林和子常任理事**の抽選により、豪華景品が次々と当選者に渡された。全員が当選したことから、すべての方を対象に2回目の抽選を行い、たくさんの景品にうれしいご感想をいただく。



(抽選 正林和子常任理事)

## 3. 閉会

瀧井道治副会長から「在京和歌山県人会は東京にいながらにして和歌山弁で会話できる唯一の貴重な場。来年開催される総会・交流会にも是非ご参加いただきたい。本日はお集まりいただきありがとうございます。」との閉会の挨拶をいただき、令和7年度通常総会も盛会裡に終了した。



(瀧井道治副会長挨拶)

## 在京和歌山県人会役員名簿

(敬称略・各役職内は五十音順)

(令和7年11月8日～令和9年通常総会開催日まで)

職 名	氏 名	所 属	出身地
名誉会長	徳川 宜子	株式会社石橋徳川建築設計所	和歌山市
会 長	鈴木 正規	キャノン株式会社	湯浅町
副 会 長	瀧井 道治	株式会社SUMCO	橋本市
常任理事	久保 剛彦	株式会社チェンジホールディングス	田辺市
〃	坂口 三代治	株式会社シビルデザイン	御坊市
〃	正林 和子	弁理士、正林国際特許商標事務所	和歌山市
〃	杉若 吉彦	(一般財団法人) 国民公園協会新宿御苑	田辺市
〃	角田 典彦	三菱UFJニコス株式会社	和歌山市
〃	高木 哲也	和歌山県東京事務所	田辺市
〃	玉置 三郎	ニッケン株式会社	田辺市
〃	桝高 修	アセットインベントリー株式会社	古座川町
理 事	岩崎 新太郎	ST不動産株式会社	新宮市
〃	大西 正悟	弁理士、KSIパートナーズ法律特許事務所	九度山町
〃	神山 欣也	株式会社海光電業	有田川町
〃	神谷 和秀	3PLATZ株式会社	橋本市
〃	川島 ケイジ	ワケイプロモーション	みなべ町
〃	川本 恭治	城南信用金庫	和歌山市
〃	坂本 豊	株式会社アイ・ティ・コンサルティング	九度山町
〃	泰地 武	株式会社ウメタ	みなべ町
〃	竹中 宣雄	(一般社団法人) 環境共生まちづくり協会	和歌山市
〃	林 克昌	内外施設工業株式会社	東京都(橋本市)
〃	濱口吉右衛門	株式会社東濱植林	広川町
〃	東 善彦	株式会社東農園	みなべ町
〃	平野 直人	株式会社相和技術研究所	かつらぎ町
〃	堀内 栄一	株式会社ホリウチ	橋本市
〃	山本 勝也	株式会社リバティジャパン	美浜町
〃	山本 哲司	株式会社紀陽銀行東京事務所	和歌山市
〃	由良 禎造	有限会社由和堂	和歌山市
監 事	東 裕	日本大学法学部	紀の川市
〃	宮本 準司	KDDI株式会社	新宮市
〃	森 聡郎	セガフレード・ザネッティ・ジャパン株式会社	古座川町
相 談 役	竹中 美晴		みなべ町
〃	谷口 博昭	いであ株式会社	和歌山市

※徳川名誉会長の任期の始期は、令和5年6月29日

## 令和7年度在京和歌山県人会総会・交流会 景品・寄付金提供一覧

(敬称略：順不同)

## 《 詰め合わせ記念品一覧 》

ざるそば専科・すきやき専科セット

ヤマサ醤油株式会社 代表取締役会長 濱口 道雄  
梅干しタッパあかね(110g)株式会社東京ウメタ 代表取締役会長 泰地 武  
梅の果実水、梅肉エキス黒飴

株式会社東農園 会長 東 善彦

## 《 抽 選 景 品 一 覧 》

「Disneyアソーテッドチョコレート」 1個

「Disneyアソーテッドスイーツ」 1個

「Disneyチョコレートカバード・ラスク」 1個

アセットインベントリー株式会社 榎高 修  
ダイワロイネットホテル和歌山宿泊券 1組大和ハウスリアルティマネジメント株式会社  
ホテル事業本部 営業部長 上田 理恵  
和2023メルロー赤ワイン(720ml)【ギフト木箱付き】

2本

株式会社T O A 会長 橋本 拓也  
詰め合わせギフト 3個

ロカリストハニー(2個セット) 1個

株式会社紀陽銀行 東京事務所長 山本 哲司  
キノピーぬいぐるみ 1個

和歌山県知事 宮崎 泉

勝僖梅 1個

和歌山市長 尾花 正啓

有田市内宿泊施設ペア宿泊券 1組

有田市長 玉木 久登

お米(きぬひかり1kg) 10個

御坊市長 三浦 源吾

みかん(10kg) 1箱

田辺市長 真砂 充敏

地酒セット・徐福茶セット 3組

新宮市長 上田 勝之

焼肉のたれ・カヤの実クッキー 5個

紀美野町長 小川 裕康

ほりにしミックスナッツ(12袋セット) 3個

かつらぎ町長 中阪 雅則

高野山宿坊昼食券 1組

高野町長 平野 嘉也

稲むら最中 3個

滝原温泉はたるの湯ペア宿泊券 2組

広川町長 榎原 淳奈

いちごジャム 5個

いちごソース 5個

美浜町長 簀内 美和子

純米吟醸 九絵酒 3本

和歌山ええわいしょクッキー・なた豆石鹸セット 10組

日高町長 松本 秀司

ダルマ醤油 3個

印南町長 日裏 勝己

白干梅 2個

はちみつ梅 2個

みなべ町長 山本 秀平

ゆら早生みかん(3kg) 3箱

日高川町長 久留米 啓史

かげろう・柚もなか 背中合わせ 6個

白浜町長 大江 康弘

熊野やまももシロップ 5個

上富田町長 奥田 誠

かつおラーメン10袋入り 3個

すさみ町長 岩田 勉

なかよし柚香ちゃん10本入り 4個

古座川町長 大屋 一成

じゃばらポン酢・じゃばら飴 10個

北山村長 泉 清久

エルトゥールル号135周年追悼式典記念品・お菓子 2個

串本町長 田嶋 勝正

## 《 寄 付 者 一 覧 》

青木 治美 岩崎 新太郎 植芝 守央

総田 清隆 神山 欣也 川口 雅敏

川島 ケイジ 久保 剛彦 坂口 三代治

杉若 吉彦 鈴木 正規 高木 哲也

瀧井 道治 竹中 美晴 谷口 博昭

玉置 三郎 中西 雅洋 濱口 吉右衛門

濱口 道雄 東 裕 東 善彦

平野 直人 堀内 榮一 前田 栄弘

榎高 修 森 聡郎

## 令和7年新入会員 ご紹介

(五十音順・敬称略)

令和7年に、次の法人会員2社、個人会員21名の皆様が新たに在京和歌山県人会に入会されましたので、ご紹介させていただきます。

氏 名	ご出身・ゆかりの地
株式会社 <sup>かどちょう</sup> 角長	湯浅町
ザンシン株式会社	日高町
<sup>いけがみ</sup> 池上 <sup>た く や</sup> 拓公也	有田市
<sup>いのうえ</sup> 井上 <sup>ひろ し</sup> 博史	和歌山市
<sup>かたやま</sup> 片山 <sup>ゆう じ</sup> 侑治	和歌山市
<sup>かわもと</sup> 川本 <sup>きょう じ</sup> 恭治	和歌山市
<sup>くすもと</sup> 楠本 <sup>かず お</sup> 和生	田辺市
<sup>こ と</sup> 古都 <sup>きよ の</sup> 清乃	群馬県（和歌山市）
<sup>すず き</sup> 鈴木 <sup>ゆう た</sup> 友多	田辺市
<sup>すみよし</sup> 住吉 <sup>ひろ つぐ</sup> 浩次	古座町
<sup>つの だ</sup> 角田 <sup>た く や</sup> 卓也	海南市
<sup>てら お</sup> 寺尾 <sup>か おり</sup> 朱織	海南市
<sup>なかしま</sup> 中島 <sup>ゆ かり</sup> ゆかり	広川町
<sup>にしやま</sup> 西山 <sup>ひろあき</sup> 巨章	和歌山市
<sup>は せ</sup> 長谷 <sup>しゅう じ</sup> 修司	白浜町
<sup>みやざき</sup> 宮崎 <sup>けい た</sup> 慶太	みなべ町
<sup>みやもと</sup> 宮本 <sup>ひと し</sup> 準司	新宮市
<sup>やまぐち</sup> 山口 <sup>あき お</sup> 明夫	紀の川市
<sup>やまもと</sup> 山本 <sup>だい ち</sup> 大地	和歌山市
<sup>やまもと</sup> 山本 <sup>みつあき</sup> 光昭	神奈川県（和歌山市）
<sup>ゆ ら</sup> 由良 <sup>せいぞう</sup> 精造	和歌山市
<sup>よこはた</sup> 横畑 <sup>み さ</sup> 美佐	太地町
<sup>よし だ</sup> 吉田 <sup>ゆき お</sup> 幸夫	田辺市



## 《議 事》

## 議案第1号 令和6年度事業報告並びに歳入歳出決算について

(令和6年度事業報告)

- ・理事会2回開催
- ・令和6年度通常総会開催(令和6年9月8日)
- ・県人会会報の発行

(令和6年度歳入歳出決算)

(歳入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	附 記
項 目				
	円	円	円	
会 費	1,925,000	2,003,000	78,000	
寄 付 金	300,000	282,000	△18,000	
広 告 料	100,000	170,000	70,000	
雑 収 入	2,000	19,312	17,312	
前年度繰越金	518,871	518,871	0	
合 計	2,845,871	2,993,183	147,312	

(歳出の部)

科 目	当初予算額	流用増減額	予算現額	決 算 額	差 引	附 記
項 目						
	円	円	円	円	円	
事 務 費	1,060,000	△200	1,059,800	845,659	214,141	
会 議 費	1,300,000	0	1,300,000	1,148,937	151,063	
事 業 費	350,000	0	350,000	301,830	48,170	
会報発行費	350,000	0	350,000	301,830	48,170	
予 備 費	210,871	0	210,871	0	210,871	
合 計	2,920,871	△200	2,920,671	2,296,626	624,245	

歳 入 合 計 2,993,183円

歳 出 合 計 2,296,626円

歳入歳出差引残金 696,557円(翌年度へ繰越)

## 令和6年度歳入歳出監査報告について

〔監査報告〕

令和6年度歳入歳出決算書について、歳入歳出決算書、諸帳簿等の監査の結果いずれも適正であることを認めます。

令和7年4月17日

監 事 後 地 俊 男  
 〃 東 裕  
 〃 森 聡 郎

## 議案第2号 令和7年度事業計画(案)並びに歳入歳出予算(案)について

(令和7年度事業計画(案))

1. 令和7年度理事会開催
2. 令和7年度通常総会開催
3. 県人会会報の発行
4. その他必要と認められる事業

## (令和7年度歳入歳出予算(案))

## (歳入の部)

科 目	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引	附 記
会 費		円	円	円	
	普 通 会 費	2,030,000	2,020,000	10,000	
	賛 助 会 費	680,000	625,000	55,000	
	総 会 費	495,000	540,000	△45,000	
	寄 付 金	855,000	855,000	0	
	広 告 料	250,000	250,000	0	
	雑 収 入	150,000	130,000	20,000	
	前年度繰越金	2,000	2,000	0	
		696,557	518,871	177,686	
	合 計	3,128,557	2,920,871	207,686	

## (歳出の部)

科 目	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引	附 記
事 務 費		円	円	円	
	議 業 費	1,080,000	1,060,000	20,000	
	会 報 発 行 費	1,430,000	1,300,000	130,000	
	予 備 費	350,000	350,000	0	
		350,000	350,000	0	
		268,557	210,871	57,686	
	合 計	3,128,557	2,920,871	207,686	

## 議案第3号 役員の改選について(案)

## 1. 以下の方を常任理事に推薦する。

氏 名	所 属	出身地	備 考
角田 典彦	三菱UFJニコス株式会社	和歌山市	正副会長推薦 (現理事)
久保 剛彦	株式会社チェンジホールディングス	田辺市	正副会長推薦 (現理事)
坂口三代治	株式会社シビルデザイン	御坊市	正副会長推薦 (現理事)
正林 和子	弁理士法人 正林国際特許商標事務所	和歌山市	正副会長推薦 (現理事)
高木 哲也	和歌山県東京事務所	田辺市	湯川常任理事後任

## 2. 以下の方を理事に推薦する。

氏 名	所 属	出身地	備 考
林 克昌	内外施設工業株式会社	東京都	正副会長推薦
川本 恭治	城南信用金庫	和歌山市	正副会長推薦
山本 哲司	紀陽銀行東京事務所	和歌山市	中村理事後任

## 3. 以下の方を監事に推薦する。

氏 名	所 属	出身地	備 考
宮本 準司	KDDI株式会社	新宮市	後地監事推薦 森監事推薦

## 4. 役員の退任について

## 《副会長》

氏 名	所 属	出身地	後 任
濱口 道雄	ヤマサ醤油株式会社	広川町	なし

## 《常任理事》

氏 名	所 属	出身地	後 任
湯川 学	和歌山県東京事務所	串本町	高木 哲也

## 《理事》

氏 名	所 属	出身地	後 任
植芝 守央	公益財団法人合気会	田辺市	なし
川口 雅敏	株式会社北辰広告	有田川町	なし
中村 泰明	紀陽銀行東京事務所	和歌山市	山本 哲司

## 《監事》

氏 名	所 属	出身地	後 任
後地 俊男	東洋ケミカルエンジニアリング株式会社	古座川町	宮本 準司

## 5. 役員の再任について

上記以外の方については、再任とする。

.....



日本最高峰ブランド  
『紀州南高梅』

粒が大きく  
皮が絹のようになめらかで  
柔らかい。

UMT 株式会社ウメタ

〒143-0024 東京都大田区中央6-30-1  
TEL 03-3755-0511 fax 03-3755-0159  
URL : <https://www.umeta.co.jp/>

天保十二年創業



醤油の発祥地である湯浅から天保十二年創業、  
湯浅醤油の老舗「角長」が昔ながらの手作り醤油をお届け。  
濃口醤油、生醤油等通信販売も承ります。



内容量 720ml  
1,834 円(税込 1,980 円)

### 濁り醤油(にごりびしお)

压榨も加熱もせず、麴が原料を分解してできた汁のみ  
を取り出す、人の手を全く加えていない醤油です。  
酵母の影響で通常の醤油に比べ少し濁った色になること  
から名付けられた「濁り醤油」は完成までに約 10 年を要し  
ました。

オンラインショップ

<https://www.kadocho.co.jp/shop.html>

醤油のふるさと 湯浅たまり  
天保十二年創業 株式会社 角長

〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅 7  
TEL : 0737-62-2035 FAX : 0737-62-4741  
<http://www.kadocho.co.jp>

## デジタルひとすじ！

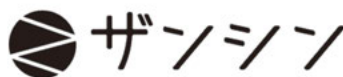
御社のDX、企画から開発・運用までワンストップ

わたしたちザンシン株式会社は、  
東京 神田を拠点とするデジタルプロ集団です。  
ビジネスと技術の両面からお客様の課題解決に伴走します。

和歌山県出身  
代表取締役  
田中正人

### ■ システム開発 ■ Webサイト制作 ■ アプリ開発

- 医療・福祉、建設・不動産、人材・教育、メーカー・商社・小売などの分野  
で、中小企業から大手企業まで業務システム開発やWEB制作の実績多数！
- 「在京和歌山人会公式WEBページ」および「和歌山県奨学会 東京学生寮  
WEBページ」も制作させていただきました。



東京都千代田区神田多町2-9-6田中ビル本館  
03-4405-9001

▼採用・詳細はこちら





# おいしいしょうゆは赤い。

毎日の食卓、キッチンに手軽に使える鮮度容器。

## 鮮度生活

### 特選 丸大豆しょうゆ 減塩しょうゆ

丸大豆を使用したうま味と華やかな香り、コク深いおいしさ。

一般的なこいくちしょうゆに比べ食塩分を50%カット。



生(なま)しょうゆと火入れしょうゆの贅沢ブレンド。

## 絹しょうゆ 絹しょうゆ 減塩

口当たりやわらかく余韻のあるうま味、これ1本でおいしさの幅が広がる。

やわらかな塩味、豊かなコクとうま味のおいしい減塩しょうゆ。

ヤマサ醤油株式会社 [www.yamasa.com](http://www.yamasa.com)

古酒梅酒  
庄屋善八  
the Time  
GODAIAN

GODAIAN  
五丁庵

## 2025年全国梅酒品評会 プレミア梅酒・ブランデーブレンド梅酒

# 2部門 金賞受賞